



大宮アルディージャ新聞



新年、明けましておめでとうございます。

日頃より、大宮アルディージャに熱くご支援・ご声援を賜り誠にありがとうございます。

2015シーズンは11年ぶりのJ2での戦いとなりましたが、皆さまの熱いご声援により「J2優勝・1年でのJ1復帰」を果たすことができ、大宮アルディージャは新たな歴史をスタートさせることができました。この場をお借りし、深く御礼と感謝を申し上げます。

2月末に開幕予定の2016シーズンは、より厳しい戦いになることが予想されます。しかし、渋谷洋樹監督の下で積み上げてきた力を発揮し、クラブビジョンとして掲げるJ1上位定着に向け、チーム一丸となって全力で邁進してまいります。

また、クラブビジョン「Ardija Vision 2020 “未来を、ともに。”」の実現に向け、「スポーツを通じて夢と感動をわかち合える、より良い地域社会の実現に貢献します。」というクラブ理念の下、様々な取り組みを継続的に行ってまいります。

トップチームの結果はもちろん、地域に密着した多岐にわたる活動によって、ホームタウンの皆さまに喜んでいただければと思います。今後とも何卒よろしくお願いたします。

大宮アルディージャ
代表取締役社長

鈴木 茂



明治安田生命

J2 LEAGUE

2015 明治安田生命J2リーグ順位表

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失差	順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失差
1	大宮アルディージャ	86	42	26	8	8	72	37	35	12	ツエーゲン金沢	54	42	12	18	12	46	43	3
2	ジュビロ磐田	82	42	24	10	8	72	43	29	13	ロアッソ熊本	53	42	13	14	15	42	45	-3
3	アビスパ福岡	82	42	24	10	8	63	37	26	14	徳島ヴォルティス	53	42	13	14	15	35	44	-9
4	セレッソ大阪	67	42	18	13	11	57	40	17	15	横浜FC	52	42	13	13	16	33	58	-25
5	愛媛FC	65	42	19	8	15	47	39	8	16	カスタマーレ讃岐	51	42	12	15	15	30	33	-3
6	V・ファーレン長崎	60	42	15	15	12	42	33	9	17	京都サンガF.C.	50	42	12	14	16	45	51	-6
7	ギラヴァンツ北九州	59	42	18	5	19	59	58	1	18	ザスパクサツ群馬	48	42	13	9	20	34	56	-22
8	東京ヴェルディ	58	42	16	10	16	43	41	2	19	水戸ホーリーホック	46	42	10	16	16	40	47	-7
9	ジェフユナイテッド市原・千葉	57	42	15	12	15	50	45	5	20	FC岐阜	43	42	12	7	23	37	71	-34
10	コンサドーレ札幌	57	42	14	15	13	47	43	4	21	大分トリニータ	38	42	8	14	20	41	51	-10
11	ファジアーノ岡山	54	42	12	18	12	40	35	5	22	栃木SC	35	42	7	14	21	39	64	-25

*1位と2位は自動昇格、3位・アビスパ福岡はプレーオフの結果により昇格、22位は自動降格、21位・大分トリニータは入れ替え戦の結果により降格。

監督・選手らが表敬訪問を実施



12月2日(水)、大宮アルディージャ 鈴木茂 代表取締役社長、渋谷洋樹 監督、加藤順大選手が上田清司 埼玉県知事と埼玉県議会を、翌3日(木)には鈴木社長、渋谷監督、菊地光将 主将が、清水勇人 さいたま市長とさいたま市議会を表敬訪問し、2015シーズンの報告を行いました。また、さいたま市西区・北区・大宮区・見沼区・岩槻区の各役所にも、トップチームの選手たちが表敬訪問してご挨拶をさせていただきました。

「J2優勝、そしてJ1昇格、おめでとうございます。日本全国で試合があるJ2での戦いは、大変だったことでしょう。来年は“さいたまダービー”が復活しますし、ますますの活躍を楽しみにしています」と、清水市長。皆さまから多くの激励のお言葉をいただき、2016年シーズンの飛躍を誓いました。

6選手が埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園へ

12月2日(水)、さいたま市北区にある「埼玉県立特別支援学校 大宮ろう学園」に富山貴光、大山啓輔、高山和真、小島幹敏、福田俊介、川田修平の6選手が訪問し、小学部の皆さんと一緒に体育の授業を行いました。

この学園訪問は、2006年から2014年に大宮アルディージャに在籍した江角浩司選手が6年前に始めた活動です。2015年に江角選手はカタレ富山に移籍しましたが、昨年、江角選手と共に訪問した富山、大山、川田の3選手が、その意志を受け継ぎました。

低学年と高学年に分かれたサッカー教室では、子どもたちは元気いっぱいの様子。最初はその元気に圧倒されていた選手たちも、徐々に打ち解けていきました。ゲーム要素を取り入れた練習後に、選手vs児童のサッカー対決も実施。白熱した試合展開となり、楽しい時間はあっという間に終了となりました。



クラブ担当者の一言

「皆さんの楽しそうな姿に、逆に元気をもらってしまいました。先輩が始めてくれたこの活動を、これからも大切にしていきたいです」と、地元さいたま市・ユース出身の大山啓輔選手は、感想を語っていました。私たちは地域に密着したプロサッカークラブとして、サッカーやサッカーを通じた様々な活動で、地元の皆さまとの関係性を強めていければと思っています。

大宮アルディージャに関するお問い合わせはこちらまで

大宮アルディージャ インフォメーションダイヤル

☎048-622-7700

10:00~18:00 土・日・月・祝日を除く



クラブ公式サイト

<http://www.ardija.co.jp>

クラブケータイ公式サイト

<http://m.ardija.co.jp>ケータイ
サイトは
こちら→